



北陸電力株式会社 サステナビリティ・リンク・ローン ローン実行前 セカンド・パーティ・オピニオン



セカンド・パーティ・オピニオン

SECOND PARTY OPINION

北陸電力株式会社

サステナビリティ・リンク・ローン ローン実行前

Prepared by: DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

Location: 神戸, 日本

Date: 2022年8月11日

Ref. Nr.: PRJN-417606-2022-AST-JPN-01

目次

報告書サマリー	3
Ⅰ. 資金調達者について	5
Ⅱ. スコープと目的	5
Ⅲ. 北陸電力と DNV の責任	5
Ⅳ. DNV 意見の基礎	6
Ⅴ. 評価作業	7
Ⅵ. 観察結果と DNV の意見	8
スケジュール-1 重要業績評価指標 (KPIs) とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット (SPTs)	17
スケジュール-2 サステナビリティ・リンク・ファイナンス適格性評価手順	18

発行履歴

発行日	内容
2022 年 8 月 11 日	初版発行

Disclaimer

Our assessment relies on the premise that the data and information provided by Issuer to us as part of our review procedures have been provided in good faith. Because of the selected nature (sampling) and other inherent limitation of both procedures and systems of internal control, there remains the unavoidable risk that errors or irregularities, possibly significant, may not have been detected. Limited depth of evidence gathering including inquiry and analytical procedures and limited sampling at lower levels in the organization were applied as per scope of work. DNV expressly disclaims any liability or co-responsibility for any decision a person or an entity may make based on this Statement.

Statement of Competence and Independence

DNV applies its own management standards and compliance policies for quality control, in accordance with ISO/IEC 17021:2011 - Conformity Assessment Requirements for bodies providing audit and certification of management systems, and accordingly maintains a comprehensive system of quality control, including documented policies and procedures regarding compliance with ethical requirements, professional standards and applicable legal and regulatory requirements. We have complied with the DNV Code of Conduct¹ during the assessment and maintain independence where required by relevant ethical requirements. This engagement work was carried out by an independent team of sustainability assurance professionals. DNV was not involved in the preparation of statements or data included in the Framework except for this Statement. DNV maintains complete impartiality toward stakeholders interviewed during the assessment process.

¹ DNV Code of Conduct is available from DNV website (www.dnv.com)

報告書サマリー

北陸電力株式会社(以下、北陸電力)は、2022年4月に公表された「長期ビジョン達成に向けた北陸電力グループの取り組み(2022年度)」から、KPIを選定して、「北陸電力サステナビリティ・リンク・ローン(以下、本ファイナンス)」の組成を行います。

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社(以下、DNV)は、北陸電力から提供された資料及び情報を基に本ファイナンスの適格性を評価しました。

適用した基準及びガイドラインは、サステナビリティ・リンク・ローン原則(ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)他、2022、以下、SLLP)、サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン(環境省、2022、以下、SLLGLs)です。

以下に示す SLLP-1～SLLP-5 は、SLLP と SLLGLs に共通する 5 つの要素に対する観察結果と DNV の意見です。

SLLP-1. 重要業績評価指標(KPIs)の選定：

北陸電力は、2022年4月に公表した「長期ビジョン達成に向けた北陸電力グループの取り組み(2022年度)」より、表-1 に示す 2 つの KPI を選定しています。

KPI-1：水力発電の新設

KPI-2：バイオマス混焼発電の拡大

これらの KPI は、北陸電力のカーボンニュートラルロードマップに示されている目標の達成に向けて中核的かつ重要な指標であり、北陸電力の現在および将来の経営にとって高い戦略的重要性があります。

KPI の選定は合理的なプロセスを経たものであり、明確に定義され、測定及び検証が可能であり、SLLP に従ったロバスト性、及び信頼性を有すると考えられます。

SLLP-2. サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SPTs)の測定：

北陸電力は、各 KPI に対して表-1 に示す SPTs を設定しました。北陸電力から提供された情報に基づき、DNV は、北陸電力には SPTs の達成に向けた具体的な計画が内在しており、SPTs が現実的であり、計画が実行可能であり、目標を達成できる見込みがあると結論付けました。

SPTs-1：北陸電力の電源構成における水力発電の割合は 26%となっており、すでに同業他社と比較して高い水準にあります。また、第 6 次エネルギー基本計画(経済産業省、2021 年)によると、2030 年度の電源構成における水力発電の割合は 11%となっています。北陸電力の水力発電の割合は現時点でその 11%を大きく上回っており、さらに 2 基の水力発電所を新設することは野心性が高いと判断されます。また、今後の再生可能エネルギー政策について(資源エネルギー庁、2022 年)によると、水力発電による発電量は 2020 年度の 784 億 kWh から 2030 年度の 980 億 kWh まで増加することになっており、北陸電力の水力発電所の新設は、政府の再生可能エネルギー拡大の取り組みに整合しています。トリガー判定条件として、2026 年 6 月末日に、2 基の水力発電所の新設が達成されているかを判定します。

SPTs-2：北陸電力の 2021 年度におけるバイオマス発電電力量は 0.22 億 kWh/年です。これを 2027～2028 年度に向けて 15 億 kWh/年まで拡大することは、“従来通りの事業(Business as Usual)”を超える取り組みです。また、バイオマス発電電力量の増加によって、約 100 万 t-CO₂/年の CO₂ 排出削減が実現し、北陸電力のカーボンニュートラルロードマップの達成に大きく貢献します。バイオマス燃料については、FIT 認定に必要な FSC や PEFC の CoC 認証を得ている契約先から供給を受けるとともに、

2037 年までの長期供給契約を締結しているため、長期間に渡って安定的にバイオマス混焼発電が実現可能と判断できます。トリガー判定条件として、2027~2028 年度のいずれかにバイオマス発電電力量 15 億 kWh/年が達成されているかを、2029 年 9 月末日に判定します。

SLLP-3. ファイナンスの特性：

サステナビリティ・リンク・ローンの財務的特性は、SPT のパフォーマンスによって影響を受けます。具体的には、金銭消費貸借証書において、定義された期日における特定のトリガー事象(SPT 達成状況)によって、ローンの貸付条件が変動します。金銭消費貸借証書に基づくと、SPT-1 の達成時には利率が-1bp、未達成時には利率が+1bp と変化します。SPT-2 の達成・未達成時の条件も同様です。

SLLP-4. レポーティング：

北陸電力は、少なくとも年に 1 回、SPT のパフォーマンスを貸し手に開示する予定です。

SLLP-5. 検証：

北陸電力は、水力発電所が運転開始する際に必要な行政機関への届出受理をもって、検証を得たものとみなします。また、北陸電力のバイオマス発電は FIT 認定を受けているため、毎年の発電電力量は行政機関への報告をもって検証を得たものとみなすか、もしくは第三者認証を受けます。

表-1 北陸電力 サステナビリティ・リンク・ファイナンスの KPIs と SPTs

KPI s	SPTs
KPI-1: 水力発電所の新設	SPT-1: 別又谷水力発電所および鶴来古町水力発電所
KPI-2: バイオマス混焼発電の拡大	SPT-2: 15 億 kWh/年
KPIs の説明	SPTs の説明
<p>各 KPI は、北陸電力のマテリアリティに密接に関連する項目が設定されています。</p> <p>KPI-1: 水力発電の新設 水力発電は、再生可能エネルギーの中でもエネルギー変換率が高い発電方法であり、適切な維持・管理によって長期間にわたり環境改善効果を発現できるものです。よって、水力発電所を新設することは、カーボンニュートラルの達成に貢献します。</p> <p>KPI-2: バイオマス混焼発電の拡大 バイオマス燃料は、既存の化石燃料のみを用いた発電方式に比べて CO₂ 排出係数が低く、バイオマス混焼発電の拡大は、カーボンニュートラルの達成に貢献します。</p>	<p>各 SPT は、野心的かつ有意義であり、現実的なものです。</p> <p>SPT-1: 別又谷水力発電所および鶴来古町水力発電所 2026 年 6 月末日に上記 2 基の水力発電所の新設が達成されているかを確認します。</p> <p>SPT-2: 15 億 kWh/年 2027~2028 年度のいずれかにバイオマス発電電力量 15 億 kWh/年が達成されているかを、2029 年 9 月末日に判定します。判定のタイミングを 2 回としたのは、定期検査により実現時期が変化する可能性があるためです。</p>

I. 資金調達者について

北陸電力は発電・小売電気事業等を営んでおり、また、北陸電力グループ企業においては電気エンジニアリング、情報通信、環境・リサイクル、生活・オフィス、製造、総合エネルギーと、さまざまなシーンでお客さまをサポートする事業を営んでいます。

II. スコープと目的

北陸電力は DNV に本ファイナンスの実行前評価を委託しています。DNV におけるファイナンス実行前評価の目的は、本ファイナンスが下表に示されている基準に合致していることを確認し、本ファイナンスの適格性についてセカンド・パーティ・オピニオンを提供することです。

DNV は独立した外部レビュー機関としてセカンド・パーティ・オピニオンの提供に際し、北陸電力とは事実及び認識においていかなる利害関係も持たないことを宣言します。

また、この報告書では、本ファイナンスの財務的なパフォーマンス、いかなる投資の価値、あるいは長期の環境便益に関する保証も提供されません。

適用又は参照される基準

No.	基準もしくはガイドライン	発行者	適用レベル* ¹
1.	サステナビリティ・リンク・ローン原則(SLLP)	ローン・マーケット・アソシエーション(LMA) 他, 2022	適用
2.	サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン(SLLGLs)	環境省, 2022	適用

*¹ 適用：各原則やガイドライン共通の 5 つの要素全てに対する適格性を評価した

III. 北陸電力と DNV の責任

北陸電力は、DNV がレビューを実施する間に必要な情報やデータを提供しました。DNV のセカンド・パーティ・オピニオンは、独立した意見を表明するものであり、DNV に提供された情報を基に、確立された基準が満たされているかどうかについて北陸電力及びファイナンスの利害関係者に情報提供することを意図しています。その業務において DNV は、北陸電力から提供された情報及び事実に依拠にしています。DNV は、この意見表明の中で参照する選定された資産のいかなる側面に対して責任がなく、また試算、観察結果、意見又は結論が不正確である場合、それに対し責任を問われることはありません。従って、DNV は、北陸電力の関係者から提供されたこの評価の基礎として使用された情報やデータの何れかが正確または完全でなかった場合においても、責任を問われないものとします。

IV. DNV 意見の基礎

DNV は、SLLP, SLLGLs の要求事項を考慮した北陸電力固有のサステナビリティ・リンク・ファイナンス評価手順(以下、手順)を作成しました。スケジュール-2 を参照してください。この手順は SLLP, SLLGLs に基づくサステナビリティ・リンク・ファイナンスに適用可能です。

DNV の手順は、DNV の意見表明の根拠に資する一連の適切な基準を含んでいます。その基準の背景にある包括的な原則は、サステナビリティ・リンク・ファイナンスが「透明性があって、持続可能で、信頼性をもった投資の機会を提供する」というものです。

DNV の手順に従って、レビュー対象であるこのサステナビリティ・リンク・ファイナンスに対する基準は、以下の 5 つの要素にグループ分けされます。

要素1. 重要業績評価指標(KPIs)の選定

サステナビリティ・リンク・ファイナンスの資金調達者は、サステナビリティ戦略に示されている包括的な目標と、その目標がどのように SPTs と連携するかを投資家または貸し手に明確に伝える必要がある。KPI は、信頼性が高く、資金調達者の核となるサステナビリティ戦略及びビジネス戦略にとって重要であり、関連する産業セクターの ESG 課題に対応し、組織の管理下に置かれるべきである。

要素2. サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SPTs)の測定

SPTs は野心的かつ有意義であり、現実的なものとすべきである。SPTs は、誠意をもって設定され、かつ、事前に設定したパフォーマンス・ターゲットのベンチマークに関連するサステナビリティの改善に基づき設定されるべきである。

要素3. ファイナンスの特性

ファイナンスには、選定された KPI に関し、事前に設定した SPTs を達成した場合(もしくは達成しなかった場合)の、財務的および/または構造的な特性を含めるべきである。ファイナンスに関連する文書では、KPI と SPT の定義、SLL の財務的および/または構造的な特性の変化についての記載が要求される。SPT が十分に計算または観察できない場合に備え、何らかの予備の代替案が説明されるべきである。

要素4. レポートニング

資金調達者は、選定した KPI のパフォーマンスに関する最新情報、および SPT に対するパフォーマンス、およびファイナンスの財務的および/または構造的な特性に対する影響のタイミングを示す検証レポート(要素 5 を参照)を公開し、簡単にアクセスできるようにすべきである。そのような情報は、ファイナンスに参加している期間、投資家または貸し手に少なくとも年に 1 回開示すべきである。

要素5. 検証

資金調達者は、SPT に対するパフォーマンスを、少なくとも年に 1 回、関連する専門知識があり、資格を有する第三者機関による検証を受けなければならない。SPTs に対するパフォーマンスの検証結果は、公開されるべきである。



V. 評価作業

DNV の評価作業は、資金調達者によって誠実に情報提供されたという理解に基づいた、利用可能な情報を用いた包括的なレビューで構成されています。DNV は、提供された情報の正確性をチェックするための監査やその他試験等を実施していません。DNV の意見を形成する評価作業には、以下が含まれます。

サステナビリティ・リンク・ファイナンス実行前アセスメント

- 資金調達者特有の評価手順の作成。スケジュール 2 を参照してください。
- 資金調達者より提供された根拠文書の評価、及び包括的なデスクトップ調査による補足的評価。
- 資金調達者へのインタビュー、及び関連する文書のレビュー。
- 基準の各要素に対する観察結果の報告書作成。

VI. 観察結果と DNV の意見

観察結果と DNV の意見は以下の通りです。

(1) 重要業績評価指標(KPIs)の選定

- DNV は、北陸電力のサステナビリティに関連する KPI をレビューし、選定した KPI(KPI-1：水力発電の新設、KPI-2：バイオマス混焼発電の拡大)が北陸電力にとって重要であり、中核となるサステナビリティ経営に関連していることを確認しました。
- 具体的には、北陸電力は「長期ビジョン達成に向けた北陸電力グループの取組み(2022 年)」を掲げ、この中の主要な取組みとして「再生可能エネルギーの主力電源化」と、グリーン燃料としての「石炭火力におけるバイオマス燃料の混焼拡大(+15 億 kWh)」が含まれています。これらは、北陸電力グループの主な ESG に関する取組みの中でも「2050 年カーボンニュートラルへの挑戦」として盛り込まれており、SLLP で示される“借り手の(電力セクターとしての北陸電力)の中核的なサステナビリティ戦略とビジネス戦略にとって重要である”KPI として選定されていると判断されます。
- KPI-1 の水力発電は、再生可能エネルギーの中でもエネルギー変換率が高い発電方法であり、適切な維持・管理によって長期間にわたり環境改善効果を発現できるものです。よって、水力発電所を新設することは、カーボンニュートラルの達成に貢献します。
- KPI-2 のバイオマス混焼発電の拡大は既存の化石燃料のみを用いた発電方式に比べて CO₂ 排出係数が低く、バイオマス混焼発電の拡大は、カーボンニュートラルの達成に貢献します。
- 各 KPI への取組みが「長期ビジョン達成に向けた北陸電力グループの取組み(2022 年)」で掲げる「カーボンニュートラルロードマップ」と密接に関連しており、北陸電力の目指す 2050 年カーボンニュートラルに貢献するとともに、収益拡大の重要な推進力になると考えられます。
- DNV は、北陸電力によって選定された KPI が明確な評価スコープと計算方法を備えていることを確認しました。詳細は、スケジュール-2 を参照して下さい。

新規設定 CO₂排出量：▲50%以上
非化石電源比率：50%以上

※従来目標
2030年度までに再エネ開発量
+20億kWh/年以上（2018年度対比）

<カーボンニュートラルロードマップ>

		2030	2050	
電源の脱炭素化	再生可能エネルギーの主力電源化	再エネ発電電力量の増加に向けた水力、風力、太陽光等の導入拡大 上方修正 再エネ開発量 +100万kW [+30億kWh/年]	再エネ電源の最大限の導入拡大 (域内・域外・海外)	
	原子力の最大限の活用	早期再稼働・ベースロード電源としての安定運転、世界最高水準の安全性を目指した取組み 原子力の新技術の検討・活用		
	ゼロエミッション火力	グリーン燃料	石炭火力におけるバイオマス燃料の混焼拡大 (+15億kWh/年) アンモニア・水素等の導入検討	バイオマス専焼化 アンモニア・水素等への転換
		CO ₂ 削減	タービン等更新によるCO ₂ 削減、 CO ₂ 回収技術等(CCUS)の導入検討等	CO ₂ 回収技術等(CCUS)導入
送配電網の高度化		再エネ主力電源化を支える強靱かつスマートな基幹系統構築、需給運用の高度化 EV等の分散型リソース導入拡大や分散型グリッド拡大を踏まえた最適な配電系統構築・運用		
お客さま・地域の脱炭素支援	電化推進	空調・給湯・厨房分野および産業分野の生産工程の電化 EVの普及拡大	新技術の採用による更なる電化推進	
	お客さま・地域のゼロエミッション支援	RE100対応電気料金メニュー、ZEH・ZEB化等の各種ソリューションサービスの提供 お客さま・地域と連携した再エネ分散型電源の開発、蓄電池の活用および再エネ導入拡大を支える基盤の整備(VPP、DRの活用)	再エネ分散型電源・水素等を活用した、地域のゼロエミッション化、地域エネルギーマネジメント	

図-1 カーボンニュートラルロードマップ



当社グループのCSR

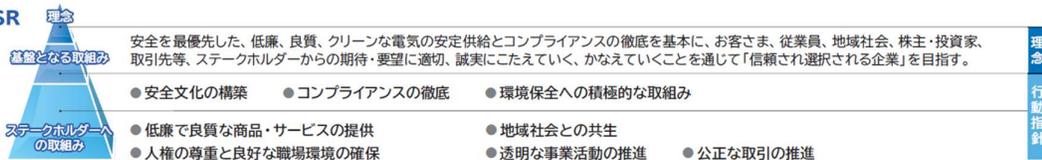


図-2 北陸電力グループの主な ESG に関する取り組み

選定した KPIs のリスト

- ✓ KPI-1 : 水力発電所の新設
- ✓ KPI-2 : バイオマス混焼発電の拡大

定義、スコープ及びパラメータ

- | | |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 選定した各 KPI の明確な定義 | <input checked="" type="checkbox"/> 明確な計算方法 |
| <input type="checkbox"/> その他 | |

選定した KPIs の関連性、ロバスト性(頑健性)及び信頼性

- | | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 選定された KPIs 借手手の持続可能性と事業戦略に関連性があり、中核的で重要であると証明されている | <input checked="" type="checkbox"/> KPIs が外部検証可能であるという証拠 |
| <input checked="" type="checkbox"/> KPIs は一貫した方法に基づいて測定可能又は定量可能であることが証明されている | <input checked="" type="checkbox"/> KPIs はベンチマークされることが可能であるという証拠 |
| | <input type="checkbox"/> その他 |

(2) サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SPTs)の測定

- DNV は、表-1 に示す SPTs が「長期ビジョン達成に向けた北陸電力グループの取組み(2022 年)」で掲げる「カーボンニュートラルロードマップ」の実現に向けた取組みと一致しており、野心的、現実的かつ有意義であることを確認しました。
- 北陸電力から提供された情報に基づき、DNV は、北陸電力には SPT の達成に向けた具体的な計画が内在しており、SPTs が現実的であり、計画が実行可能であり、目標を達成できる見込みがあると結論付けました。
- SPT-1 は別又谷小水力発電所および鶴来古町小水力発電所の新設です。北陸電力の水力発電比率は 26%と同業他社と比較して既に高い水準であり、さらなる水力発電所の新設は野心性が高いと判断されます。
- SPT-2はバイオマス発電電力量の15億kWh/年の達成です。2021年度における北陸電力のバイオマス発電電力量は0.22億kWh/年であり、SPTを達成するためには大幅な導入拡大が必要です。これは、サステナビリティ・リンク・ファイナンスで求められる、直近のパフォーマンス水準に基づき定量的に設定された、“従来通りの事業(Business as Usual)”を超える野心的な目標です。バイオマス燃料については、FIT認定に必要なFSCやPEFCのCoC認証を得ている契約先から供給を受けるとともに、2037年までの長期供給契約を締結しているため、長期間に渡って安定的にバイオマス混焼発電が実現可能と判断できます。
- DNV は、SPT 設定のプロセスがベンチマークアプローチの適切な組み合わせに基づいていることを確認しました。
 - 各 SPT は、北陸電力の「長期ビジョン達成に向けた北陸電力グループの取組み(2022 年度)」を基に設定されています。この中で北陸電力は 2050 年カーボンニュートラルの達成に向けた目標を掲げており、各 SPT はこの目標達成に貢献するものです。北陸電力の目標は、パリ協定への整合を企図して策定された政府目標に沿って設定されているため、科学的根拠に基づいていると判断できます。
 - SPT-1 では、北陸電力の電源構成における水力発電の割合は 26%となっており、すでに同業他社と比較して高い水準にあります。さらに 2 基の新設を進めることとなります。
 - SPT-2 では、バイオマス混焼は電力分野のトランジション・ロードマップ(経済産業省、2022 年)で示される 2030 年までのトランジション電源の一つとして、代表的なプロジェクトと判断できます。
- DNV は、SPT 設定が以下のとおり貸し手に対して適切に開示されていることを確認しました。
 - SPT-1 は、2026 年 6 月末時点で 2 基の水力発電所の新設が達成されているかを判定します。2024 年度に 1 基新設、2025 年度に 1 基新設することで目標を達成する見通しです。
 - SPT-2 は、2027~2028 年度のいずれかでバイオマス発電電力量 15 億 kWh/年が達成されているかを、2029 年 9 月末日に判定します。敦賀火力発電所 2 号機および七尾大田火力発電所 2 号機のバイオマス混焼発電を拡大することで目標を達成する見通しです。現在、敦賀火力 2 号機は木質バイオマス混焼拡大のための設備改造工事を進めており、2024 年度の運転開始を予定しています。また、七尾大田火力 2 号機についても準備が進められています。

選定した SPTs のリスト

- ✓ SPT-1 : 別又谷水力発電所および鶴来古町水力発電所
- ✓ SPT-2 : 15 億 kWh/年

(SPTs の)合理性と、野心度合い

- | | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> SPTs が大幅な改善をもたらすことの証拠 | <input checked="" type="checkbox"/> 選定されたベンチマークと基準の関連性と信頼性が証明されている |
| <input checked="" type="checkbox"/> SPTs が借り手の持続可能性と事業戦略に合致していることの証拠 | <input checked="" type="checkbox"/> SPTs は事前に定義されたタイムライン(時間軸)において設定されていることが証明されている |
| | <input type="checkbox"/> その他 |

ベンチマーク手法

- | | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 借り手自身のパフォーマンス(過去実績等) | <input checked="" type="checkbox"/> (借り手の)同業他社 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 科学的根拠の参照 | <input type="checkbox"/> その他 |

追加的な開示

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 再計算又は調整を行う可能性の説明 | <input checked="" type="checkbox"/> 達成に向けた借り手の戦略の説明 |
| <input type="checkbox"/> SPTs の達成に影響を及ぼす可能性のある重要な要因の特定 | <input type="checkbox"/> その他 |

(3) ファイナンスの特性

DNVは、本ファイナンスでは、SPTの達成状況が財務的な特性に影響を与えることを確認しました。ここでの影響とは、ローンの貸付条件を指し、金銭消費貸借証書に基づくと、SPT-1の達成時には利率が-1bp、未達成時には利率が+1bpと変化します。SPT-2の達成・未達成時の条件も同様です。金銭消費貸借証書では、特定のトリガー事象に関連する目標達成判定の観測時期が決定されています。

- DNV は、北陸電力が適切なフォールバックメカニズム(予備の代替案)について検討を行い、その結果、計算または観察できないリスクは極めて小さいことから、現時点で別の SPT や計算方法を設定しないことを確認しました。
- 北陸電力は、事業環境の変動/事業構造の変革等が生じた場合、当該事象が外部要因か北陸電力の経営判断の結果によるものかを問わず、合理的な理由がある場合において、社内会議で議論の上、KPI 及び SPT を変更する可能性を説明しています。
- 北陸電力が KPI 及び SPT を変更する場合、金銭消費貸借証書等にて貸し手と合意する予定であることを確認しました。

財務的インパクト

- 利率の変動
- その他：

構造的特性

- その他：トリガー判定の条件(判定日及び SPT)は、契約書類の中で明記される予定である。

(4) レポートティング

- DNV は、SLLP が要求する以下の内容について、北陸電力が必要な情報をタイムリーに貸し手に開示することを確認しました。
 - KPI のパフォーマンス：サステナビリティ・リンク・ローン実行後、返済完了までに、少なくとも 1 年 1 回以上、貸し手に対して開示します。
 - SPT 達成状況：財務的な特性(ローンの貸付条件)の決定に利用されます。
 - 政府の目標が変更になった場合：北陸電力の SPT の野心得合いについて DNV 等と協議し、必要な場合には変更します。

レポート情報

- | | |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 選定された KPIs のパフォーマンス | <input type="checkbox"/> 検証保証報告書 |
| <input checked="" type="checkbox"/> SPTs の野心得合い | <input checked="" type="checkbox"/> その他：トリガー判定を行った際の財務的インパクトに関する情報(利率情報)。必要な場合には、KPI、SPT の調整、再計算結果の妥当性 |

頻度

- | | |
|--|-----------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 年次 | <input type="checkbox"/> 半期 |
| <input type="checkbox"/> その他 | |

開示方法

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 公開される財務報告書に記載 | <input type="checkbox"/> 公開されるサステナビリティ報告書に記載 |
| <input type="checkbox"/> 適時公開される文書に記載 | <input checked="" type="checkbox"/> その他：貸し手に対して開示 |
| <input type="checkbox"/> 外部レビューを受けたレポートティング | |

保証報告書のレベル

- | | |
|-------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 限定保証 | <input type="checkbox"/> 合理的保証 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> その他：報告書は取得しない予定 |

(5) 検証

- DNV は、北陸電力が水力発電所を運転開始する際に必要な行政機関への届出受理をもって、検証を得たものとみなすことを確認しました。また、北陸電力のバイオマス発電は FIT 認定を受けているため、毎年の発電電力量は行政機関への報告をもって検証を得たものとみなす、もしくは第三者認証を受けることを確認しました。

レポート情報

- | | |
|-------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 限定保証 | <input type="checkbox"/> 合理的保証 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> その他：報告書は取得しない予定。 |

頻度

- | | |
|--|-----------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 年次 | <input type="checkbox"/> 半期 |
| <input type="checkbox"/> その他 | |

重要な変更

- | | |
|--|------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 境界(範囲) | <input type="checkbox"/> KPI の測定方法 |
| <input type="checkbox"/> SPTs の調整(変更) | |

評価結果

DNV は、北陸電力から提供された情報と実施された業務に基づき、北陸電力がサステナビリティ・リンク・ファイナンス適格性評価手順の要求事項を満たしており、SLLP, SLLGLs で示されている「KPI 及び SPT を通じて、重要で、定量的で、事前に決定され、野心的で、定期的に監視され、そして外部で検証された、持続可能な(ESG) 目標の達成を奨励する」と言う定義・目的と一致しており、「透明性がある、持続可能で、信頼性をもった投資の機会を提供する」ことを意見表明します。

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

2022 年 8 月 11 日



前田 直樹

代表取締役社長

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社



金留 正人

プロジェクトリーダー

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社



鳥海 淳

アセッサー

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

About DNV

Driven by our purpose of safeguarding life, property and the environment, DNV enables organisations to advance the safety and sustainability of their business. Combining leading technical and operational expertise, risk methodology and in-depth industry knowledge, we empower our customers' decisions and actions with trust and confidence. We continuously invest in research and collaborative innovation to provide customers and society with operational and technological foresight.

With our origins stretching back to 1864, our reach today is global. Operating in more than 100 countries, our 16,000 professionals are dedicated to helping customers make the world safer, smarter and greener.

Disclaimer

Responsibilities of the Management of the Issuer and the Second-Party Opinion Providers, DNV : The management of Issuer has provided the information and data used by DNV during the delivery of this review. Our statement represents an independent opinion and is intended to inform the Issuer management and other interested stakeholders in the Bond as to whether the established criteria have been met, based on the information provided to us. In our work we have relied on the information and the facts presented to us by the Issuer. DNV is not responsible for any aspect of the nominated assets referred to in this opinion and cannot be held liable if estimates, findings, opinions, or conclusions are incorrect. Thus, DNV shall not be held liable if any of the information or data provided by the Issuer's management and used as a basis for this assessment were not correct or complete

スケジュール-1 重要業績評価指標(KPIs)とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SPTs)

KPIs 重要業績評価指標

KPIs	説明
KPI-1 水力発電所の新設 KPI-2 バイオマス混焼発電の拡大	<p>KPI-1: 水力発電所の新設</p> <p>水力発電は、再生可能エネルギーの中でもエネルギー変換率が高い発電方法であり、適切な維持・管理によって長期間にわたり環境改善効果を発現できるものです。よって、水力発電所を新設することは、カーボンニュートラルの達成に貢献します。</p> <p>KPI-2: バイオマス混焼発電の拡大</p> <p>バイオマス燃料は、既存の化石燃料のみを用いた発電方式に比べて CO₂ 排出係数が低く、バイオマス混焼発電の拡大は、カーボンニュートラルの達成に貢献します。</p>

SPTs サステナビリティパフォーマンスターゲット

SPTs	説明
SPT-1 別又谷水力発電所および鶴来古町水力発電所 SPT-2 15 億 kWh/年	<p>SPT-1: 別又谷水力発電所および鶴来古町水力発電所</p> <p>2026 年 6 月末日に上記 2 基の水力発電所の新設が達成されているかを確認します。</p> <p>SPT-2: 15 億 kWh/年</p> <p>2027~2028 年度のいずれかにバイオマス発電電力量 15 億 kWh/年が達成されているかを、2029 年 9 月末日に判定します。判定のタイミングを 2 回としたのは、定期検査により実現時期が変化する可能性があるためです。</p>

スケジュール-2 サステナビリティ・リンク・ファイナンス適格性評価手順

下記のチェックリスト(SLLP-1~5)は、SLLP の要求項目を基に、北陸電力サステナビリティ・リンク・ファイナンス適格性評価用に作成された DNV 評価手順です。

SLLP-1 重要業績評価指標(KPIs)の選定

Ref.	基準	要求事項	評価作業	DNV 観察結果
1a	中核となるサステナビリティ戦略及びビジネス戦略 に対するKPIの重要性	<p>借り手のサステナビリティパフォーマンスは、外部または内部のサステナビリティKPIを使用して測定される。KPIは、借り手の中核となるサステナビリティ戦略及びビジネス戦略にとって重要であり、業界セクターの関連する環境、社会、及び/またはガバナンスの課題に対応し、経営陣の管理下にある必要があります。KPIは、借り手の現在および/または将来の経営にとって高い戦略的重要性がある必要があります。</p> <p>借り手は、KPIが選定された根拠とプロセス、およびKPIがサステナビリティ戦略にどのように適合するかを貸し手に明確に伝えることが推奨される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー ・サステナビリティ・リンク・ファイナンスチェックリストサマリー 	<p>北陸電力は、スケジュール-1 に示す 2 つの KPI を選定しています。これらは、北陸電力が公表した「長期ビジョン達成に向けた北陸電力グループの取り組み(2022 年度)」のカーボンニュートラルロードマップに示されている目標の達成に向けた中核的かつ重要な指標であり、現在および将来の経営にとって高い戦略的重要性があります。</p> <p>北陸電力は貸し手との協議において、KPI が選定された根拠とプロセス、および KPI がサステナビリティ戦略にどのように適合するかを明確に伝えています。</p>
1b	KPIの可測性	<p>KPI は、一貫した方法論に基づいて、測定可能または定量化可能であり、外部で検証可能であり、ベンチマーク可能となる必要がある。つまり、SPT の野心性のレベル評価を容易にするために、外部の参照または定義を可能な限り使用する必要があります。</p> <p>可能であれば借り手は、過去に開示された年次報告書、サステナビリティレポート、またはその他の非財務報告にすでに含まれている KPI を選択して、貸し手が選定した KPI の過去のパフォーマンスを評価できるようにすることが推奨される。KPI が過去に開示されていない状況では、借り手は、可能な範囲で、少なくとも過去 3 年間をカバーする過去の外部検証済み KPI 値を提供する必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー ・サステナビリティ・リンク・ファイナンスチェックリストサマリー 	<p>KPI-1 の水力発電所の新設では、行政機関への運転開始の届出受理をもって、測定可能です。</p> <p>KPI-2 のバイオマス混焼発電の拡大では、対象となる発電所の発電電力量は測定可能です。また、バイオマス混焼比率も、バイオマス燃料の投入量や熱量などのデータから定量化可能です。</p>
1c	KPIの明確な定義	<p>KPI の明確な定義を提供し、適用可能な範囲または境界、および計算方法を含める必要があります</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー ・サステナビリティ・リンク・ファイナンスチェックリストサマリー 	<p>各 KPI の定義は明確になっており、KPI-1 は水力発電所の新設なので、計算方法はありませぬ。KPI-2 は、発電電力量(kWh/年)にバイオマス混焼比率(%)を乗じることで計算されます。</p>

SLLP-2 SPT (サステナビリティパフォーマンスターゲット) の較正

Ref.	基準	要求事項	評価作業	DNV 観察結果
2a	有意義な目標設定	SPT は、借り手のビジネスにとって野心的、現実的かつ有意義であるものであり、借り手の包括的な戦略的持続可能性/ESG 戦略と一致している必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> インタビュー 長期ビジョン達成に向けた北陸電力グループの取組み (2022 年度) 	各SPTは、「長期ビジョン達成に向けた北陸電力グループの取組み (2022年度)」で示されているサステナビリティ戦略と一致しており、北陸電力のビジネスにとって、野心的、現実的かつ有意義なものです。
2b	有意義な目標設定	SPT は、各 KPI の重要な改善を示し、“通常の事業”における軌道を超えている必要がある。可能であれば、ベンチマークまたは外部参照と比較されており、ローンの実行前（または実行と同時に）に設定された事前定義されたタイムラインで決定される必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> インタビュー サステナビリティ・リンク・ファインランスチェックリストサマリー 長期ビジョン達成に向けた北陸電力グループの取組み (2022 年度) 	<p>北陸電力の電源構成における水力発電の割合は26%となっており、すでに同業他社と比較して高い水準にあります。また、第6次エネルギー基本計画によると、2030年度の電源構成における水力発電の割合は11%となっています。北陸電力の水力発電の割合は現時点でその11%を大きく上回っており、そこからさらに水力発電所を新設することは野心性が高いと判断されます。また、今後の再生可能エネルギー政策についてによると、水力発電による発電量は2020年度の784億kWhから2030年度の980億kWhまで増加することになっており、北陸電力の水力発電所の新設は、政府の再生可能エネルギー拡大の取り組みに整合しています。</p> <p>北陸電力の2021年度におけるバイオマス発電電力量は0.22億kWh/年であり、これを2027~2028年度に向けて15億kWh/年まで拡大することは、“従来通りの事業(Business as Usual)”を超える取り組みです。バイオマス燃料については、FIT認定に必要なFSCやPEFCのCoC認証を得ている契約先から供給を受けるとともに、2037年までの長期供給契約を締結しているため、長期間に渡って安定的にバイオマス混焼発電が実現可能と判断できます。</p>
2c	目標設定のベンチマーク	<p>目標設定は、ベンチマークアプローチの組み合わせに基づく必要があります。</p> <p>1. 可能な場合、選定した KPI で最低 3 年間の測定実績がある、借り手自身のパフォーマンスが推奨され、可能な場合は KPI に関するガイダンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> インタビュー サステナビリティ・リンク・ファインランスチェックリストサマリー 長期ビジョン達成に向けた北陸電力グループの取組み (2022 年度) 	<p>DNVは、SPT目標達成のプロセスがベンチマークアプローチの適切な組み合わせに基づいていることを確認しました。</p> <p>各KPI/SPTは、北陸電力の「長期ビジョン達成に向けた北陸電力グループの取組み(2022年度)」を基に設定されています。この中で北陸電力は、2050年カーボンニュートラルの達成に向けた目標を掲げており、各SPTはこの目標達成に貢献するものです。北陸電力の目</p>

Ref.	基準	要求事項	評価作業	DNV 観察結果
		2. 比較可能または利用可能な場合は借り手の同業者に対する、または、業界あるいはセクター基準に対する SPT の相対的な位置づけ 3. 科学的根拠に基づくシナリオ、または絶対レベル（炭素収支など）、公式の国/地域/国際目標、利用可能な最善の技術、あるいはその他のプロキシ、の体系的な参照		標は、パリ協定への整合を企図して策定された政府目標に沿って設定されているため、科学的根拠に基づいていると判断できます。 SPT-1では、北陸電力の電源構成における水力発電の割合は26%となっており、すでに同業他社と比較して高い水準にあります。さらに2基の新設を進めることとなります。 SPT-2では、バイオマス混焼は電力分野のトランジション・ロードマップで示される2030年までのトランジション電源の一つとして、代表的なプロジェクトと判断できます。
2d	目標設定の開示	目標設定に関する開示は、以下を明確に参照する必要があります。 1. 目標達成のタイムライン、トリガーイベント、および SPT の頻度 2. 必要に応じて、KPI の改善のために選択された検証済みのベースラインまたは参照ポイント、および使用されるそのベースラインまたは参照ポイントの理論的根拠 3. 必要に応じて、ベースラインの再計算または試算調整が行われる状況 4. 競争と機密性の考慮事項を考慮して、可能であれば、借り手がそのような SPT に到達する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー ・金銭消費貸借証書 ・サステナビリティ・リンク・ファイナンスチェックリストサマリー 	SPT-1は、2026年6月末時点で2基の水力発電所の新設が達成されているかを判定します。 SPT-2は、2027~2028年度のいずれかでバイオマス発電電力量15億kWh/年が達成されているかを、2029年9月末日に判定します。

SLLP-3 ローンの特徴

Ref.	基準	要求事項	評価作業	DNV 観察結果
3a	ローンの特性 SPTの財務的 /構造的影響	SLLには、KPIが事前定義されたSPTに到達するかどうかに基づいて、トリガーイベントに関連する財務的および/または構造的影響を含める必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> インタビュー 金銭消費貸借証書 	DNVは、SPTの達成状況に応じて、ローンの貸付条件が変動することを確認しました。具体的には、SPT-1の達成時には利率が-1bp、未達成時には利率が+1bpと変化します。SPT-2の達成・未達成時の条件も同様です。
3b	ローンの特性- フォールバック メカニズム	SPTを十分に計算または観察できない場合のフォールバックメカニズムについて説明する必要があります。 借り手は、必要に応じて、潜在的な例外的なイベントを考慮に入れるために、ローンの文書に文言を含めることを検討することもできます。	<ul style="list-style-type: none"> インタビュー 金銭消費貸借証書 サステナビリティ・リンク・ファイナンスチェックリストサマリー 	DNVは、北陸電力が適切なフォールバックメカニズム(予備の代替案)について検討を行い、その結果、計算または観察できないリスクは小さいことから、現時点で別のSPTや計算方法を設定しないことを確認しました。

SLLP-4 レポートिंग

Ref.	基準	要求事項	評価作業	DNV 観察結果
4a	レポートिंग	SLLの借り手は、下記に関して、公開し、すぐに利用でき、簡単にアクセスできるようにしておく必要があります。 <ol style="list-style-type: none"> 選択したKPIのパフォーマンスに関する最新情報(必要な場合はベースラインを含む) SPTに対するパフォーマンスと関連する影響、およびローンの財務的および/または構造的な特性に対するそのような影響のタイミングを概説する、SPTに関連する検証保証レポート 貸し手がSPTの野心のレベルを監視できるようにする情報 	<ul style="list-style-type: none"> インタビュー サステナビリティ・リンク・ファイナンスチェックリストサマリー 	DNVは、北陸電力が少なくとも1年に1回以上、貸し手に対して必要な情報を開示する予定であること確認しました。



Ref.	基準	要求事項	評価作業	DNV 観察結果
		このレポートは、定期的に、少なくとも年に 1 回、いずれの場合も、SLL の財務的および/または構造的特性の潜在的な調整につながる SPT パフォーマンスの評価に関連する任意の日付/期間に公開する必要があります。		

SLLP-5 検証

Ref.	基準	要求事項	評価作業	DNV 観察結果
5a	外部レビュー	借り手は、少なくとも年に 1 回、各 SPT トリガーイベントについて、関連する専門知識を持つ資格のある外部レビューアによって、各 KPI の各 SPT に対するパフォーマンスに対して独立した検証を受ける必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> インタビュー サステナビリティ・リンク・ファイナンスチェックリストサマリー 	<p>DNVは、北陸電力が水力発電所を運転開始する際に必要な行政機関への届出受理をもって、検証を得たものとみなすことを確認しました。</p> <p>また、北陸電力のバイオマス発電はFIT認定を受けているため、毎年の発電電力量は行政機関への報告をもって検証を得たものとみなす、もしくは第三者認証を受けることを確認しました。</p>